

瑞浪市
在宅介護実態調査
結果報告書

令和2年5月

瑞浪市

目 次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	1
(1)	数値の基本的な取り扱いについて	1
3	回答者の属性	2
(1)	回答者	2
(2)	性別	2
(3)	年齢	2
(4)	要介護度	2
(5)	居住地区	3
①	居住地区	3
②	日常生活圏域	3
II	調査結果	4
1	家族や生活状況について	4
(1)	世帯類型	4
(2)	施設等の検討状況	6
(3)	抱えている傷病	8
(4)	令和元年11月における介護保険サービス利用の有無	10
(5)	令和元年11月の1か月間の利用状況	12
①	1週間あたりの利用回数	12
②	利用の有無	12
③	1か月あたりの利用日数	12
(6)	介護保険サービスを利用していない理由	13
(7)	介護保険以外の支援・サービスの利用状況	14
(8)	在宅生活継続のために必要な支援・サービス	15
(9)	訪問診療の利用の有無	16
(10)	家族等の介護の頻度	18
3	主な介護者について	20
(1)	介護のための離職の有無	20
(2)	主な介護者	22
(3)	主な介護者の性別	24
(4)	主な介護者の年齢	26
(5)	主な介護者が行っている介護	28

(6) 主な介護者が不安に感じる介護.....	30
(7) 主な介護者の勤務形態.....	32
(8) 主な介護者の働き方の調整の状況.....	34
(9) 勤め先からの効果的な支援.....	36
(10) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識.....	38

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、「第8期瑞浪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、瑞浪市の要介護認定を受けられた皆様から、介護保険サービスの利用状況やニーズをお聞きし、安心して暮らせる高齢社会の実現のための基礎調査として活用することを目的に実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	市内にお住まいで、主に在宅で要支援・要介護認定を受けている方
配布数	800
抽出法	無作為抽出
調査方法	聞き取り・郵送法
調査時期	令和2年2月
調査地域	瑞浪市全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	800
有効回収数	559
有効回収率	69.9%

2 本調査報告書の基本的な事項

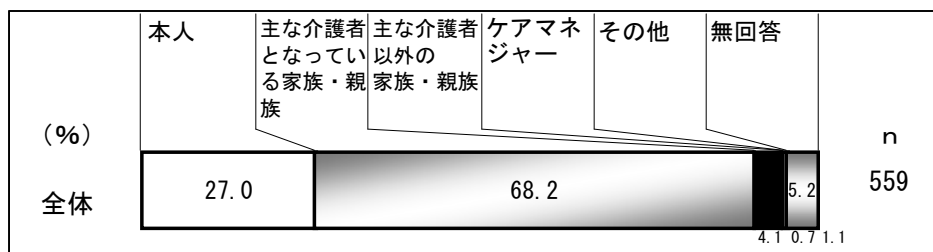
(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。
従って、合計が100%にならない場合があります。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある間は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問であり、従って各回答の合計比率は100%を超えている場合があります。

3 回答者の属性

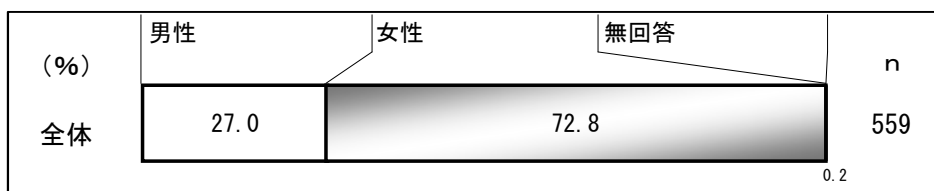
(1) 回答者

回答者は、「主な介護者となっている家族・親族」が68.2%、「本人」が27.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が4.1%、「ケアマネジャー」が0.7%となっています。



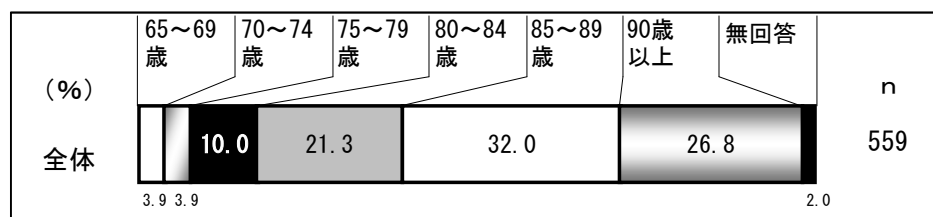
(2) 性別

調査対象者の性別は、「女性」が72.8%、「男性」が27.0%となっています。



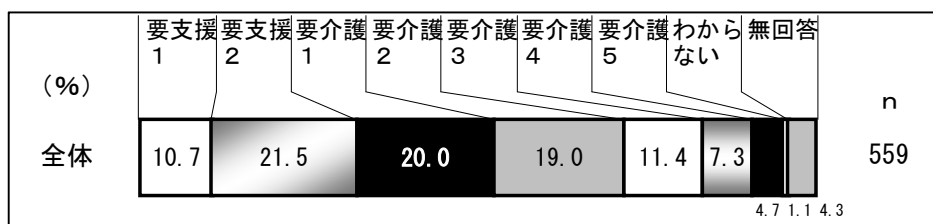
(3) 年齢

調査対象者の年齢構成は、「85～89歳」が32.0%、「90歳以上」が26.8%、「80～84歳」が21.3%、「75～79歳」が10.0%、「65～69歳」・「70～74歳」が同率で3.9%となっています。



(4) 要介護度

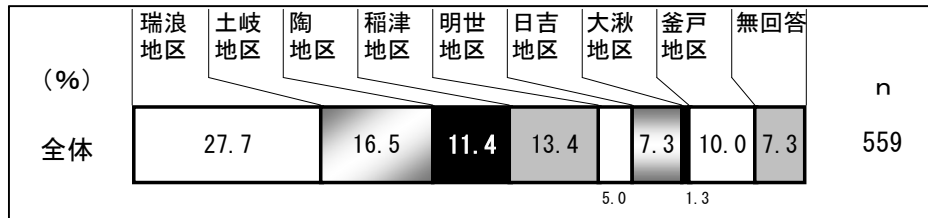
調査対象者の要介護認定区分は、「要支援2」が21.5%、「要介護1」が20.0%、「要介護2」が19.0%、「要介護3」が11.4%、「要支援1」が10.7%、「要介護4」が7.3%、「要介護5」が4.7%、「わからない」が1.1%となっています。



(5) 居住地区

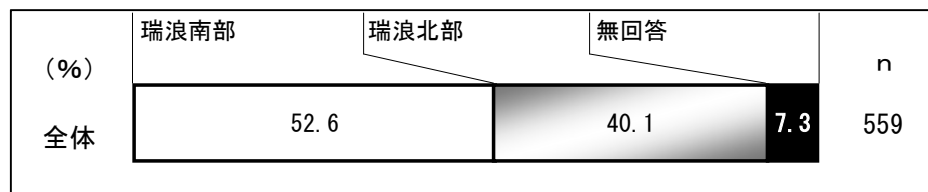
①居住地区

調査対象者の居住地区は、「瑞浪地区」が 27.7%、「土岐地区」が 16.5%、「稲津地区」が 13.4%、「陶地区」が 11.4%、「釜戸地区」が 10.0%、「日吉地区」が 7.3%、「明世地区」が 5.0%、「大湫地区」が 1.3%となっています。



②日常生活圏域

居住区を統合した後の居住地区（日常生活圏域）は、「瑞浪南部」が 52.6%、「瑞浪北部」が 40.1%となっています。



※瑞浪南部＝瑞浪地区・稲津地区・陶地区

瑞浪北部＝土岐地区・明世地区・釜戸地区・大湫地区・日吉地区

Ⅱ 調査結果

1 家族や生活状況について

(1) 世帯類型

問1 世帯類型について、ご回答ください。

- 「単身世帯」が3割弱。

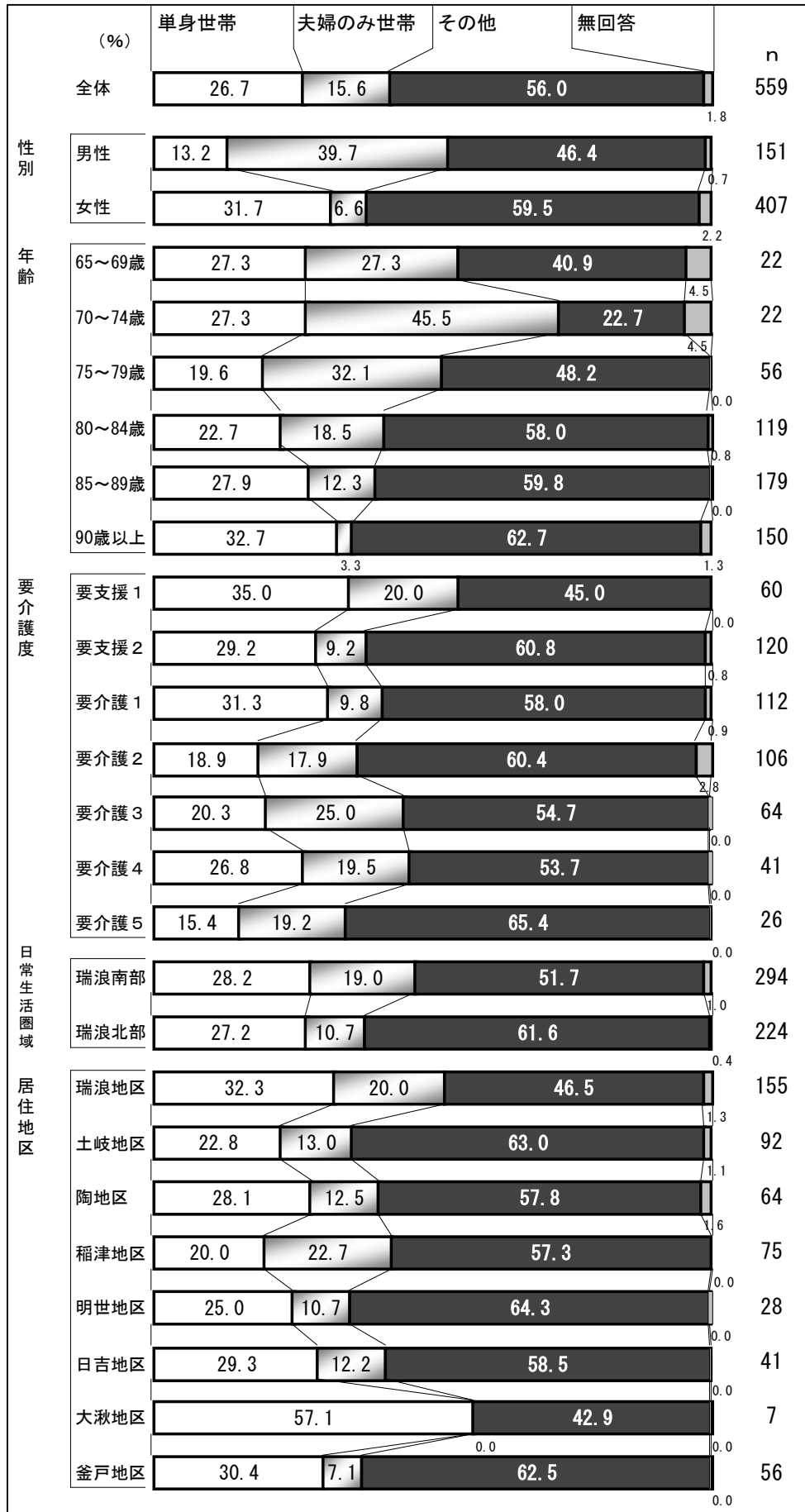
世帯類型については、「単身世帯」が26.7%、「夫婦のみ世帯」が15.6%となっています。

性別で見ると、「単身世帯」の割合は、男性に比べ女性のほうが約19ポイント上回っています。

要介護度別で見ると、「単身世帯」の割合は、要介護2、5では1割台、要支援2、要介護3、4は2割台、要支援1、要介護1では3割台となっています。

居住地区別で見ると、「単身世帯」の割合は、瑞浪地区、大湫地区、釜戸地区で3割を超え、他の地域より高くなっています。

図表 世帯類型



(2) 施設等の検討状況

問2 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。



- 「入所・入居は検討していない」が6割台半ば。

施設等の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が64.6%、「入所・入居を検討している」が17.7%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が14.8%、となっています。

要介護度別でみると、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合は、概ね要介護度の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

図表 施設等の検討状況

		(%)	入所・入居は 検討していない	入所・入居を 検討している	すでに入所・ 入居申し込み をしている	無回答	n
	全体		64.6	17.7	14.8	2.9	559
性別	男性		68.2	15.9	13.9	2.0	151
	女性		63.1	18.4	15.2	2.0	407
年齢	65～69歳		72.7	18.2	9.1	3.2	22
	70～74歳		54.5	27.3	9.1	9.1	22
	75～79歳		69.6	10.7	16.1	3.6	56
	80～84歳		67.2	16.8	16.0	0.0	119
	85～89歳		68.2	16.8	12.3	2.8	179
	90歳以上		58.0	22.0	18.7	1.3	150
要介護度	要支援1		78.3	16.7	1.7	3.3	60
	要支援2		84.2	10.0	5.0	0.8	120
	要介護1		70.5	19.6	8.0	1.8	112
	要介護2		53.8	27.4	17.0	1.9	106
	要介護3		46.9	20.3	31.3	1.6	64
	要介護4		43.9	14.6	39.0	2.4	41
	要介護5		53.8	11.5	34.6	0.0	26
日常生活圏域	瑞浪南部		65.6	16.0	16.0	2.4	294
	瑞浪北部		64.3	20.5	13.4	1.8	224
居住地区	瑞浪地区		60.6	20.6	15.5	3.2	155
	土岐地区		58.7	22.8	16.3	2.2	92
	陶地区		71.9	9.4	15.6	3.1	64
	稲津地区		70.7	12.0	17.3	0.0	75
	明世地区		64.3	28.6	7.1	0.0	28
	日吉地区		73.2	12.2	14.6	0.0	41
	大湫地区		71.4	14.3	14.3	0.0	7
	釜戸地区		66.1	19.6	10.7	3.6	56

(3) 抱えている傷病

問3 ご本人（実態調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
【複数回答】

- 「認知症」が第1位、次いで、「筋骨格系疾患」、「眼科・耳鼻科疾患」の順。

抱えている傷病については、「認知症」(32.4%)、「筋骨格系疾患」(20.0%)、「眼科・耳鼻科疾患」(18.2%)、「脳血管疾患(脳卒中)」(17.2%)、「心疾患(心臓病)」(16.3%)、「糖尿病」(12.3%)、「変形性関節疾患」(11.4%)、「呼吸器疾患」(6.3%)、「悪性新生物(がん)」(4.3%)、「腎疾患(透析)」・「パーキンソン病」(同率3.4%)、「膠原病(関節リウマチ含む)」(2.9%)「難病(パーキンソン病を除く)」(1.6%)の順となっています。

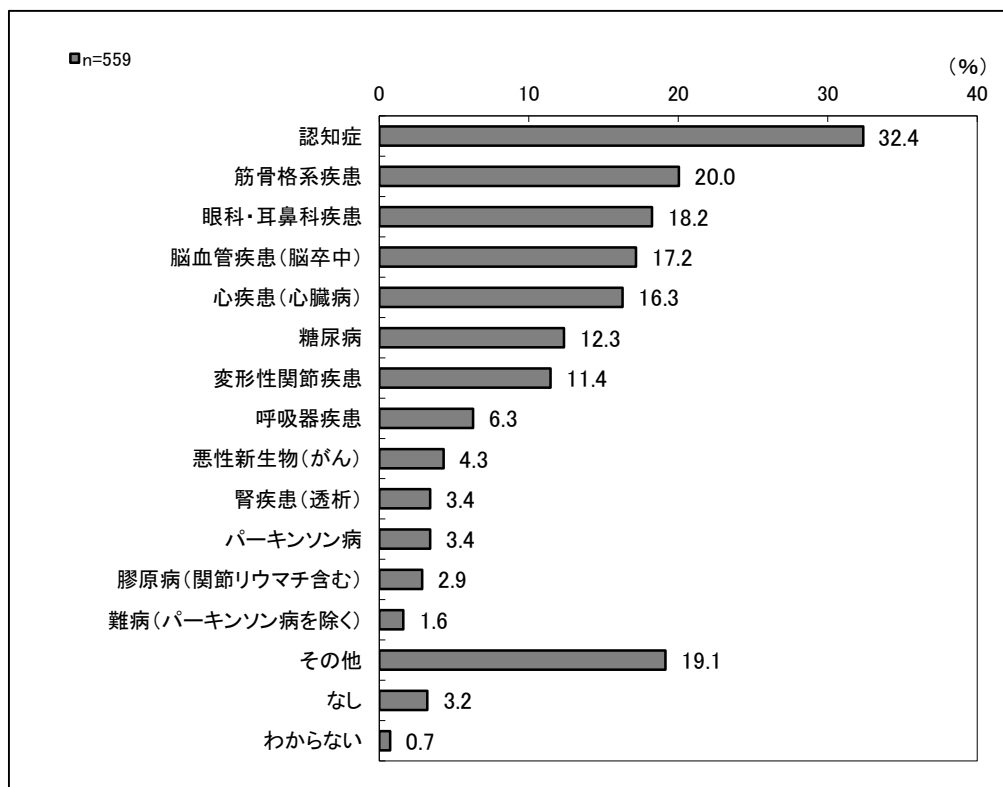
なお、「なし」が3.2%、「わからない」が0.7%となっています。

性別でみると、男性では「脳血管疾患(脳卒中)」が第1位である一方、女性では「認知症」が第1位となっています。

年齢別でみると、後期高齢者の各年齢層では「認知症」が第1位となっていますが、65-69歳では「脳血管疾患(脳卒中)」、70-74歳では「筋骨格系疾患」が第1位となっています。

要介護度別でみると、要支援1、要介護1～5では「認知症」が第1位となっていますが、要支援2では「筋骨格系疾患」が第1位となっています。

図表 抱えている傷病（全体）



図表 抱えている傷病（全体・属性別一上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		認知症 32.4	筋骨格系疾患 20.0	眼科・耳鼻科疾患 18.2
性別	男性	脳血管疾患（脳卒中） 29.1	認知症 27.2	糖尿病 15.9
	女性	認知症 34.4	筋骨格系疾患 23.1	眼科・耳鼻科疾患 19.9
年齢	65～69歳	脳血管疾患（脳卒中） 27.3	認知症 22.7	変形性関節疾患 18.2
	70～74歳	筋骨格系疾患 22.7	認知症 18.2	脳血管疾患（脳卒中）/変形性関節疾患/パーキンソン病/眼科・耳鼻科疾患 13.6
	75～79歳	認知症 32.1	脳血管疾患（脳卒中） 28.6	糖尿病 19.6
	80～84歳	認知症 31.9	脳血管疾患（脳卒中） 25.2	筋骨格系疾患 24.4
	85～89歳	認知症 35.8	筋骨格系疾患 25.1	眼科・耳鼻科疾患 19.6
	90歳以上	認知症 33.3	眼科・耳鼻科疾患 21.3	筋骨格系疾患 18.0
要介護度	要支援1	認知症 20.0	脳血管疾患（脳卒中）/糖尿病/眼科・耳鼻科疾患 16.7	
	要支援2	筋骨格系疾患 30.8	変形性関節疾患 22.5	心疾患（心臓病） 20.0
	要介護1	認知症 53.6	眼科・耳鼻科疾患 18.8	筋骨格系疾患 16.1
	要介護2	認知症 40.6	筋骨格系疾患 23.6	眼科・耳鼻科疾患 21.7
	要介護3	認知症 45.3	脳血管疾患（脳卒中） 26.6	筋骨格系疾患 15.6
	要介護4	認知症 31.7	心疾患（心臓病） 24.4	筋骨格系疾患 22.0
	要介護5	認知症 42.3	脳血管疾患（脳卒中） 26.9	眼科・耳鼻科疾患 19.2
日常生活圏域	瑞浪南部	認知症 32.7	眼科・耳鼻科疾患 20.1	脳血管疾患（脳卒中） 18.7
	瑞浪北部	認知症 31.7	筋骨格系疾患 22.3	脳血管疾患（脳卒中）/心疾患（心臓病）/眼科・耳鼻科疾患 16.5
居住地区	瑞浪地区	認知症 30.3	脳血管疾患（脳卒中） 20.0	心疾患（心臓病）/眼科・耳鼻科疾患 18.7
	土岐地区	認知症 41.3	筋骨格系疾患 19.6	眼科・耳鼻科疾患 15.2
	陶地区	認知症 35.9	眼科・耳鼻科疾患 23.4	変形性関節疾患 18.8
	稲津地区	認知症 34.7	筋骨格系疾患 24.0	脳血管疾患（脳卒中） 21.3
	明世地区	認知症 28.6	筋骨格系疾患 25.0	脳血管疾患（脳卒中）/心疾患（心臓病）/眼科・耳鼻科疾患 17.9
	日吉地区	脳血管疾患（脳卒中） 31.7	筋骨格系疾患 26.8	認知症 22.0
	大湫地区	心疾患（心臓病）/筋骨格系疾患/認知症 42.9		
	釜戸地区	変形性関節疾患 25.0	認知症 23.2	筋骨格系疾患/眼科・耳鼻科疾患 19.6

(4) 令和元年11月における介護保険サービス利用の有無

問4 令和元年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。

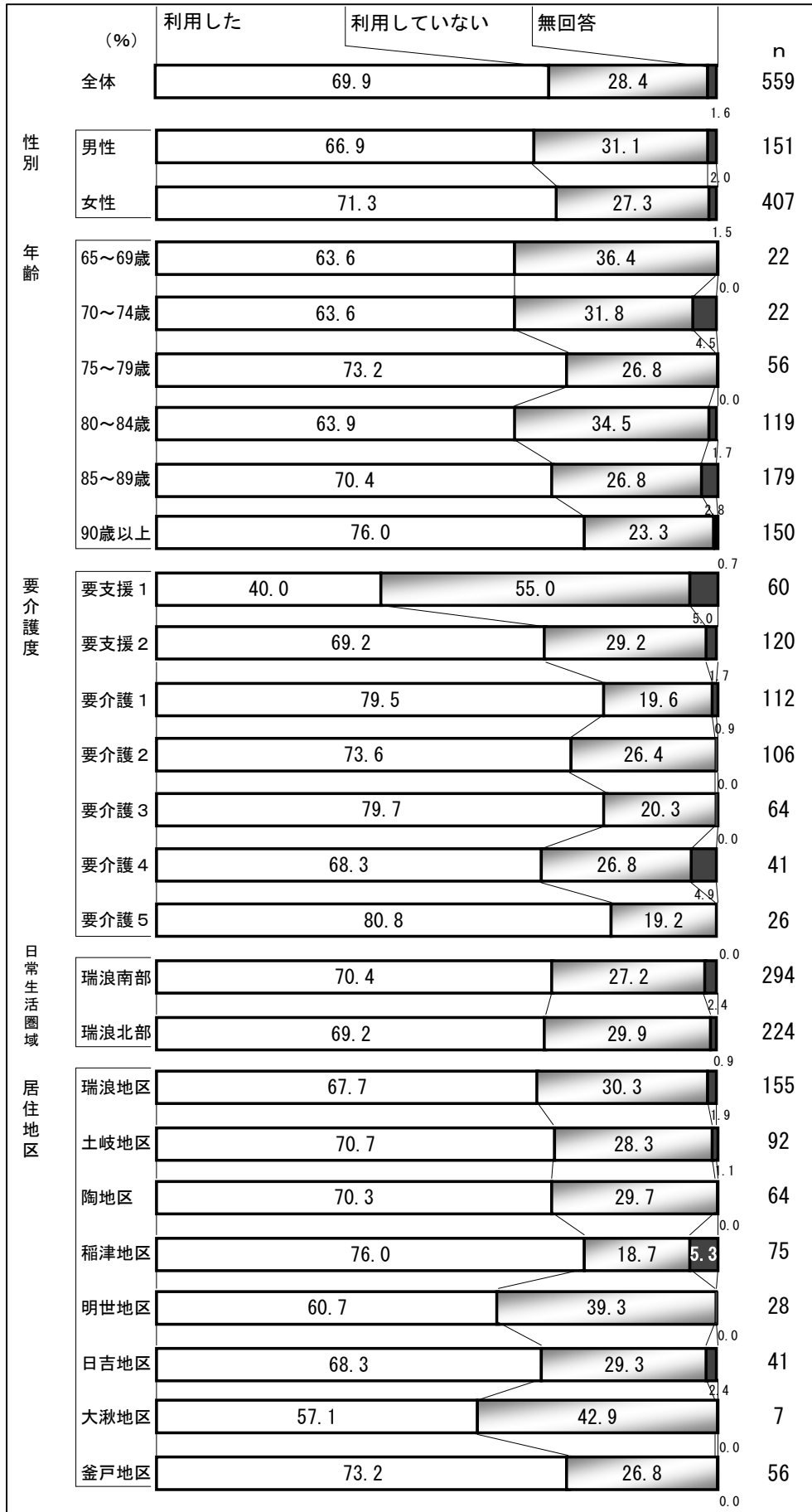


- 「利用した」が約7割、一方、「利用していない」が3割弱。

令和元年11月における介護保険サービス利用の有無については、「利用した」が69.9%、一方、「利用していない」が28.4%となっています。

要介護度別で見ると、「利用した」の割合は、要支援1では約4割にとどまる一方、要介護5では約8割となっています。

図表 令和元年11月における介護保険サービス利用の有無



(5) 令和元年11月の1か月間の利用状況

【問4で「1.」と回答した方のみ】

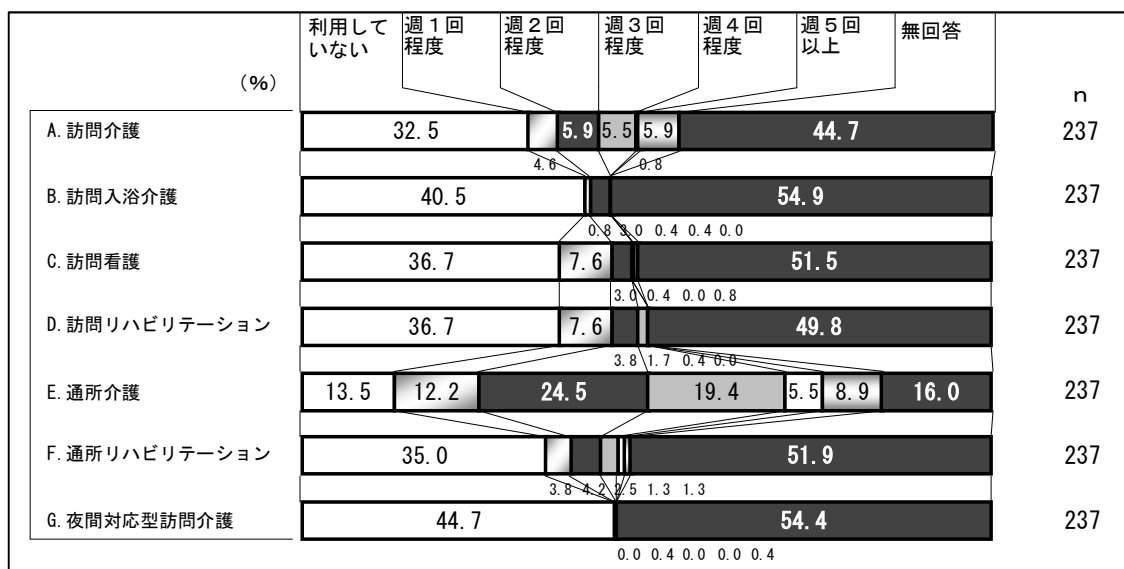
問4-1 以下の介護保険サービスについて、令和元年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1. 利用していない」を選択してください。

※郵送分の回答のみ。

令和元年11月の1か月間の利用状況については、下記のとおりとなっています。

図表 令和元年11月の1か月間の利用状況

① 1週間あたりの利用回数



② 利用の有無

(%)	利用していない	利用した	無回答	n
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	76.4	7.2	16.5	237
I. 小規模多機能型居宅介護	78.5		16.9	237
J. 看護小規模多機能型居宅介護	78.1		18.1	237

③ 1か月あたりの利用日数

(%)	利用していない	月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上	無回答	n
K. ショートステイ	66.2				13.1	15.6	237
L. 居宅療養管理指導	69.6					25.7	237

(6) 介護保険サービスを利用していない理由

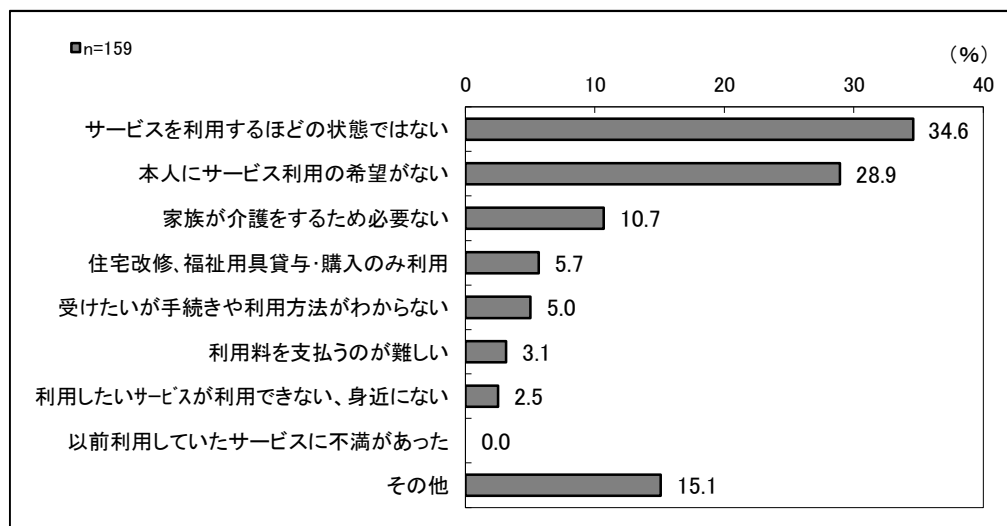
【問4で「2.」と回答した方のみ】

問4-2 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。【複数回答】

- 「サービスを利用するほどの状態ではない」が第1位、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」の順。

介護保険サービスを利用していない理由については、「サービスを利用するほどの状態ではない」(34.6%)、「本人にサービス利用の希望がない」(28.9%)、「家族が介護をするため必要ない」(10.7%)、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみ利用」(5.7%)、「受けたいが手続きや利用方法がわからない」(5.0%)、「利用料を支払うのが難しい」(3.1%)、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」(2.5%)の順となっています。

図表 介護保険サービスを利用していない理由（全体）



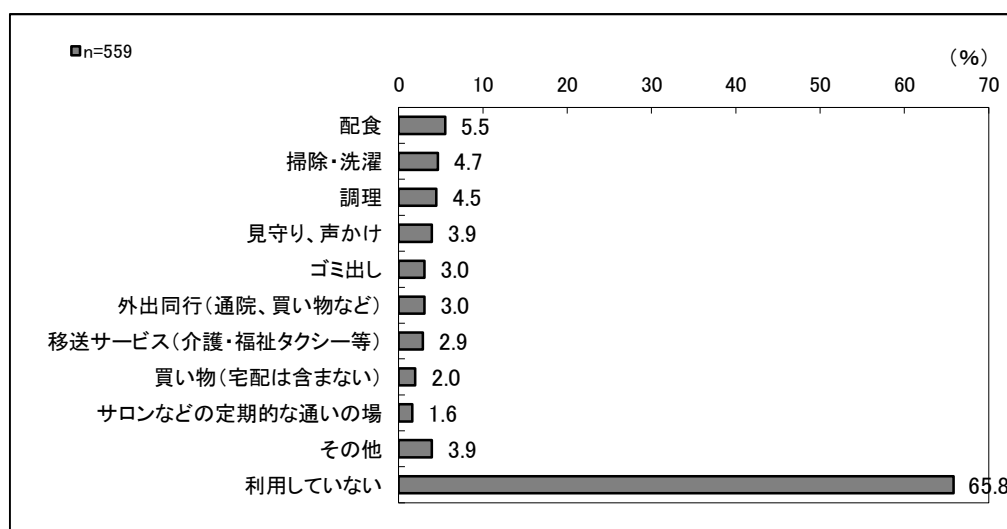
(7) 介護保険以外の支援・サービスの利用状況

問5 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。【複数回答】

- 「利用していない」が6割台半ば。具体的には、「配食」、「掃除・洗濯」、「調理」の順。

介護保険以外の支援・サービスの利用状況については、具体的には、「配食」(5.5%)、「掃除・洗濯」(4.7%)、「調理」(4.5%)、「見守り、声かけ」(3.9%)、「ゴミ出し」・「外出同行(通院、買い物など)」(同率 3.0%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(2.9%)、「買い物(宅配は含まない)」(2.0%)、「サロンなどの定期的な通いの場」(1.6%)の順となっています。なお、「利用していない」は65.8%となっています。

図表 介護保険以外の支援・サービスの利用状況(全体)



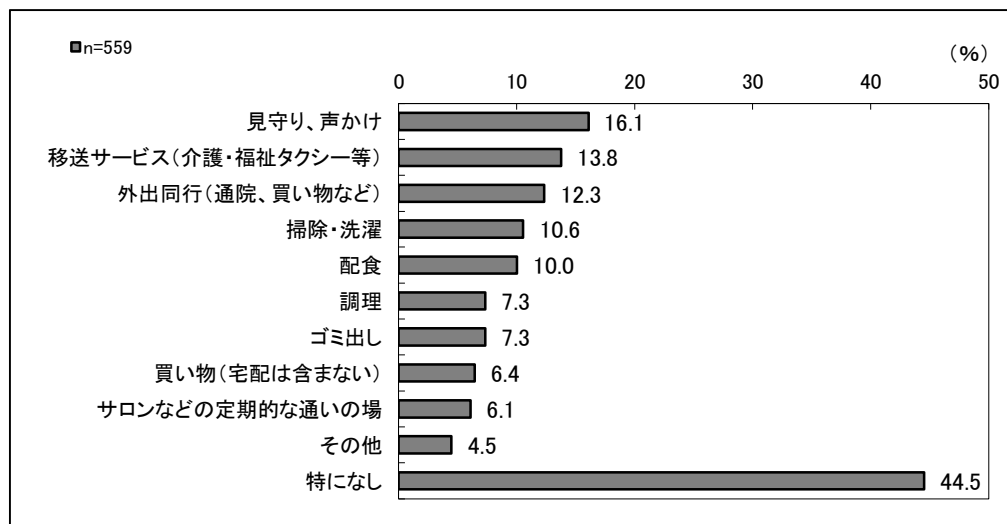
(8) 在宅生活継続のために必要な支援・サービス

問6 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。【複数回答】

- 「特になし」が4割台半ば。具体的には、「見守り、声かけ」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「外出同行（通院、買い物など）」の順。

在宅生活継続のために必要な支援・サービスについては、具体的には、「見守り、声かけ」(16.1%)、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」(13.8%)、「外出同行（通院、買い物など）」(12.3%)、「掃除・洗濯」(10.6%)、「配食」(10.0%)、「調理」・「ゴミ出し」(7.3%)、「買い物（宅配は含まない）」(6.4%)、「サロンなどの定期的な通いの場」(6.1%)の順となっています。なお、「特になし」は44.5%となっています。

図表 在宅生活継続のために必要な支援・サービス（全体）



(9) 訪問診療の利用の有無

問7 ご本人（実態調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。

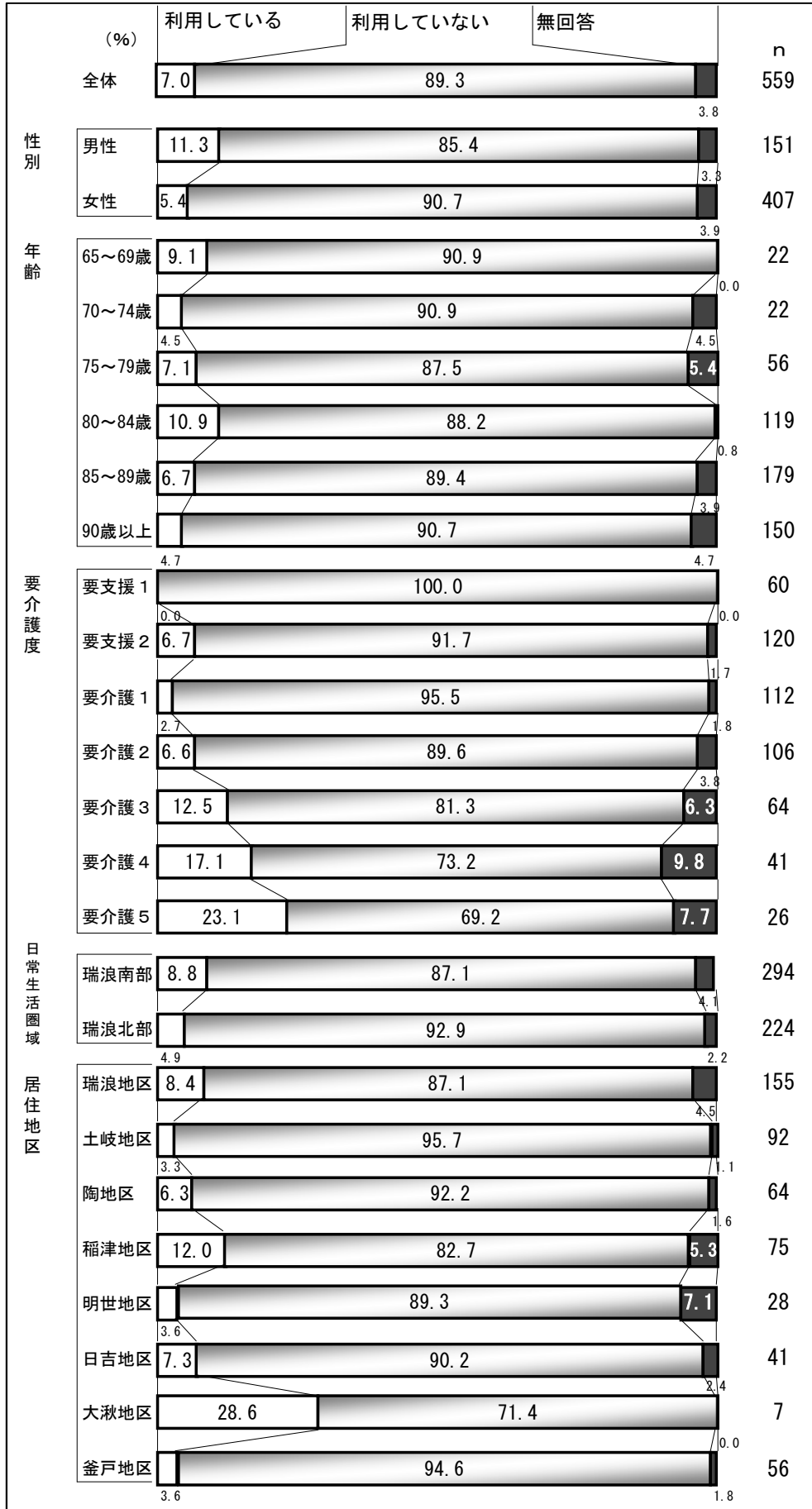


- 「利用していない」が約9割、一方、「利用している」が7.0%。

訪問診療の利用の有無については、「利用していない」が89.3%、一方、「利用している」が7.0%となっています。

要介護度別でみると、「利用していない」の割合は、概ね要介護度が高いほど、低くなる傾向がみられます。

図表 訪問診療の利用の有無



(10) 家族等の介護の頻度

問8 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む。)



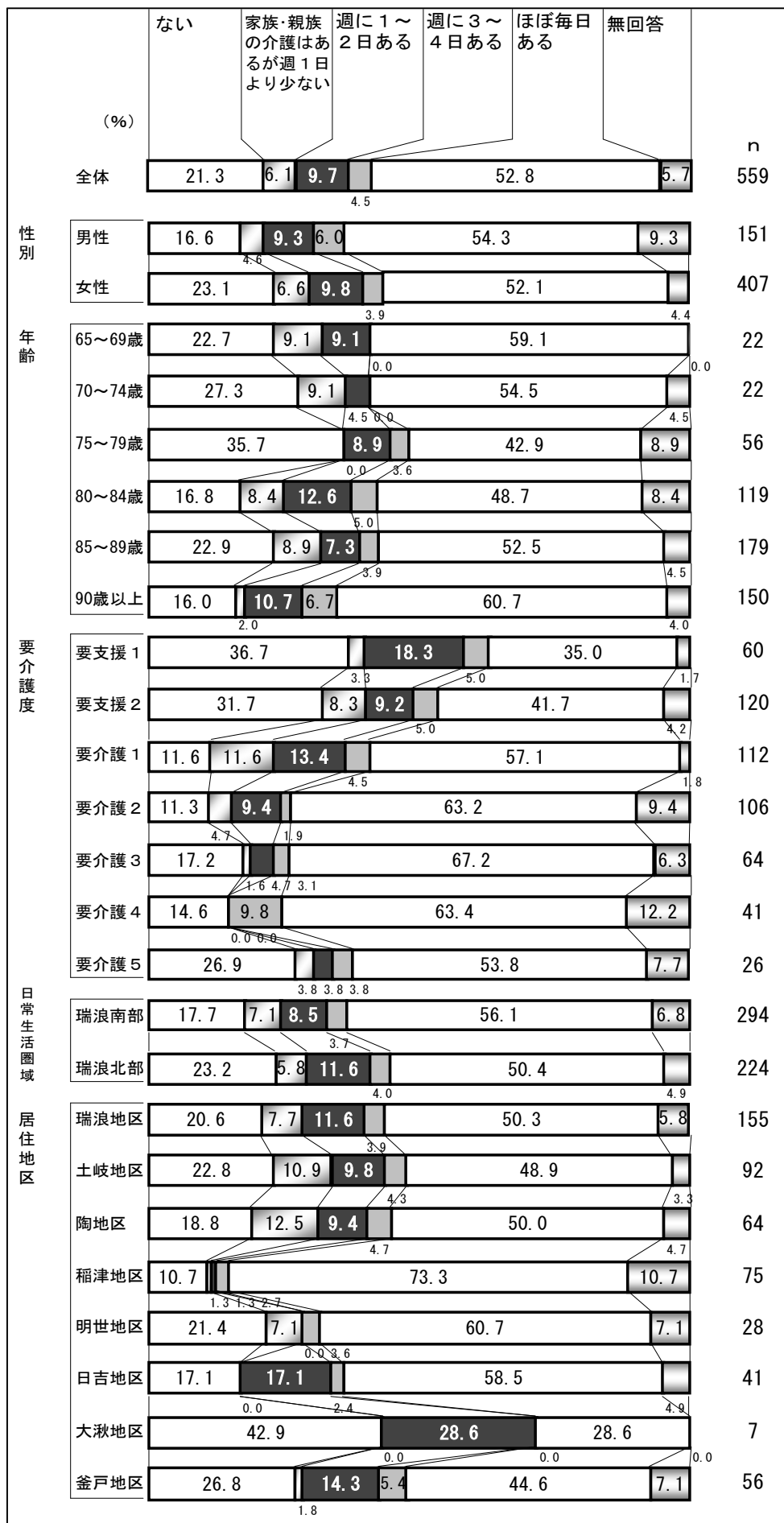
- 「ほぼ毎日ある」が5割強。

家族等の介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が52.8%、「ない」が21.3%、「週に1～2日ある」が9.7%、「家族・親族の介護はあるが週1日より少ない」が6.1%、「週に3～4日ある」が4.5%となっています。

要介護度別で見ると、「ほぼ毎日ある」の割合は、要支援者では3～4割台であるのに対し、要介護者では過半数を占めています。

居住地区別で見ると、「ほぼ毎日ある」の割合は、稲津地区では7割を超えており、他の地域より高くなっています。

図表 家族等の介護の頻度



3 主な介護者について

(1) 介護のための離職の有無

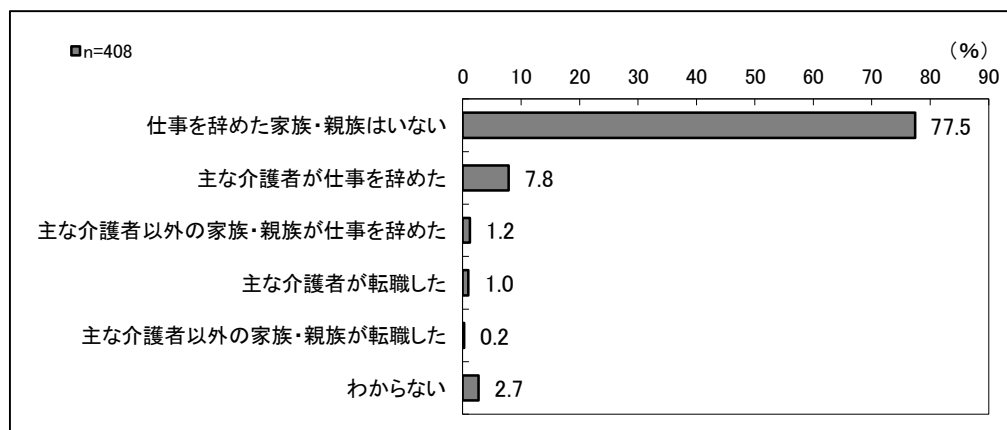
問9 ご家族やご親族の中で、ご本人（実態調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。）【複数回答】

- 「仕事を辞めた家族・親族はいない」が他を引き離して第1位。

介護のための離職の有無についてみると、「仕事を辞めた家族・親族はいない」(77.5%)、「主な介護者が仕事を辞めた」(7.8%)、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた」(1.2%)、「主な介護者が転職した」(1.0%)、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」(0.2%)の順となっています。なお、「わからない」は2.7%となっています。

属性別でみても、すべての層で「仕事を辞めた家族・親族はいない」が第1位となっています。

図表 介護のための離職の有無（全体）



図表 介護のための離職の有無（全体・属性別－上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		仕事を辞めた家族・親族はいない 77.5	主な介護者が仕事を辞めた 7.8	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた 1.2
性別	男性	仕事を辞めた家族・親族はいない 80.4	主な介護者が仕事を辞めた 7.1	
	女性	仕事を辞めた家族・親族はいない 76.3	主な介護者が仕事を辞めた 8.1	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた 1.7
年齢	65～69歳	仕事を辞めた家族・親族はいない 70.6	主な介護者が転職した 5.9	
	70～74歳	仕事を辞めた家族・親族はいない 86.7	主な介護者が仕事を辞めた 13.3	
	75～79歳	仕事を辞めた家族・親族はいない 80.6	主な介護者が仕事を辞めた 6.5	
	80～84歳	仕事を辞めた家族・親族はいない 74.2	主な介護者が仕事を辞めた 7.9	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた 2.2
	85～89歳	仕事を辞めた家族・親族はいない 78.5	主な介護者が仕事を辞めた 8.5	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた/主な介護者が転職した 1.5
	90歳以上	仕事を辞めた家族・親族はいない 80.0	主な介護者が仕事を辞めた 8.3	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた 0.8
要介護度	要支援1	仕事を辞めた家族・親族はいない 75.7	主な介護者が仕事を辞めた 8.1	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた 5.4
	要支援2	仕事を辞めた家族・親族はいない 77.9	主な介護者が仕事を辞めた 7.8	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた/主な介護者が転職した 1.3
	要介護1	仕事を辞めた家族・親族はいない 76.3	主な介護者が仕事を辞めた 9.3	主な介護者が転職した 2.1
	要介護2	仕事を辞めた家族・親族はいない 83.3	主な介護者が仕事を辞めた 3.6	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた 1.2
	要介護3	仕事を辞めた家族・親族はいない 73.5	主な介護者が仕事を辞めた 12.2	
	要介護4	仕事を辞めた家族・親族はいない 86.7	主な介護者が仕事を辞めた 6.7	
	要介護5	仕事を辞めた家族・親族はいない 76.5	主な介護者が仕事を辞めた 17.6	
日常生活圏域	瑞浪南部	仕事を辞めた家族・親族はいない 77.5	主な介護者が仕事を辞めた 8.6	主な介護者が転職した 0.9
	瑞浪北部	仕事を辞めた家族・親族はいない 78.9	主な介護者が仕事を辞めた 8.1	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた 1.9
居住地区	瑞浪地区	仕事を辞めた家族・親族はいない 76.3	主な介護者が仕事を辞めた 7.0	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた/主な介護者が転職した 0.9
	土岐地区	仕事を辞めた家族・親族はいない 72.1	主な介護者が仕事を辞めた 7.4	主な介護者が転職した 2.9
	陶地区	仕事を辞めた家族・親族はいない 87.8	主な介護者が仕事を辞めた 6.1	主な介護者が転職した 2.0
	稲津地区	仕事を辞めた家族・親族はいない 71.2	主な介護者が仕事を辞めた 13.6	
	明世地区	仕事を辞めた家族・親族はいない 90.0	主な介護者が仕事を辞めた 5.0	
	日吉地区	仕事を辞めた家族・親族はいない 87.5	主な介護者が仕事を辞めた 9.4	
	大湫地区	仕事を辞めた家族・親族はいない 75.0	主な介護者が仕事を辞めた 25.0	
	釜戸地区	仕事を辞めた家族・親族はいない 78.4	主な介護者が仕事を辞めた 8.1	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた 5.4

(2) 主な介護者

問 10 主な介護者の方は、どなたですか。



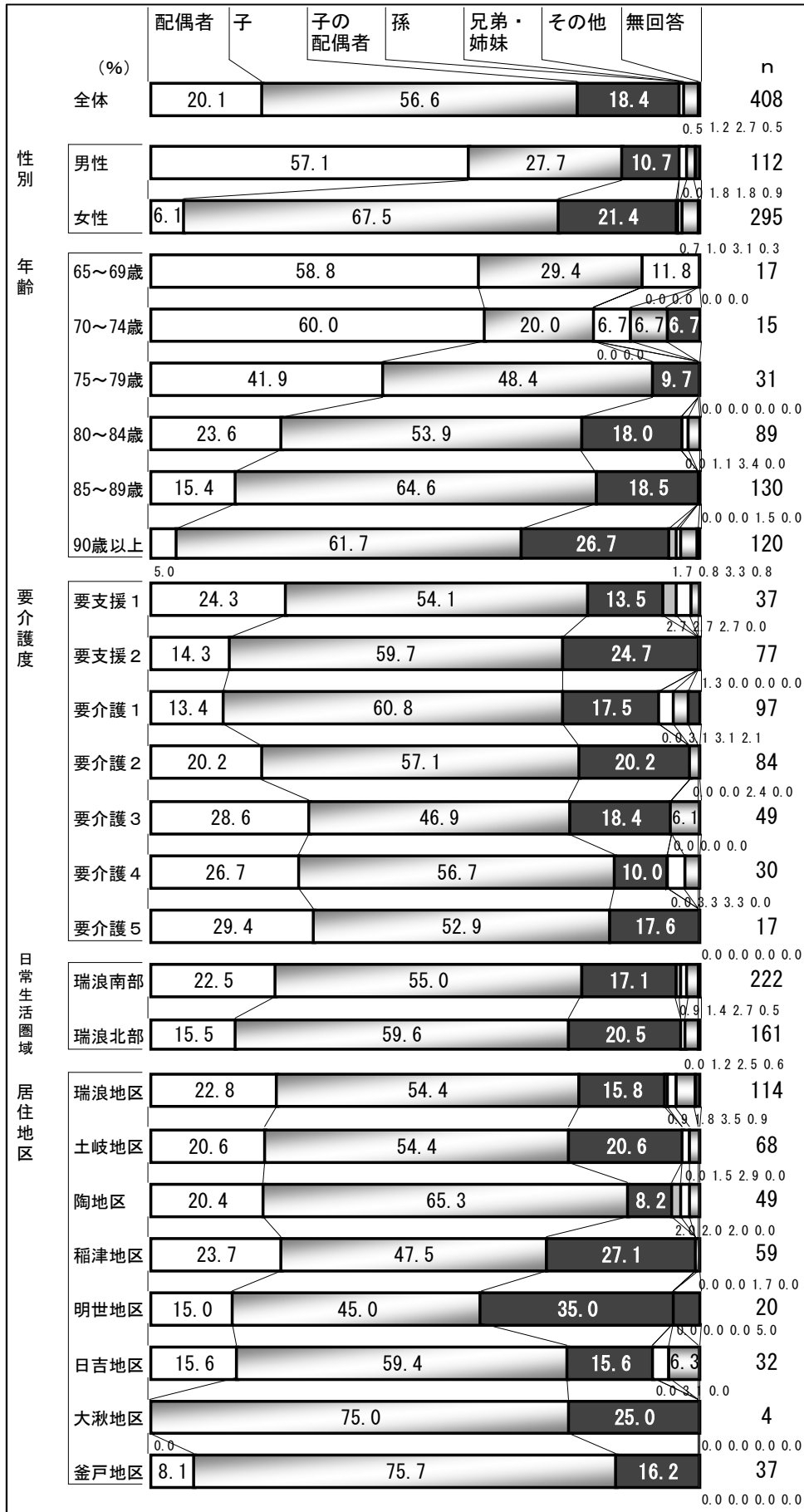
● 「子」が6割弱。

主な介護者については、「子」が56.6%、「配偶者」が20.1%、「子の配偶者」が18.4%、「兄弟・姉妹」が1.2%、「孫」が0.5%となっています。

性別で見ると、男性は「配偶者」、女性は「子」が多数を占めています。

年齢別で見ると、「配偶者」の割合は、概ね年齢層が高いほど、低くなる傾向がみられます。

図表 主な介護者



(3) 主な介護者の性別

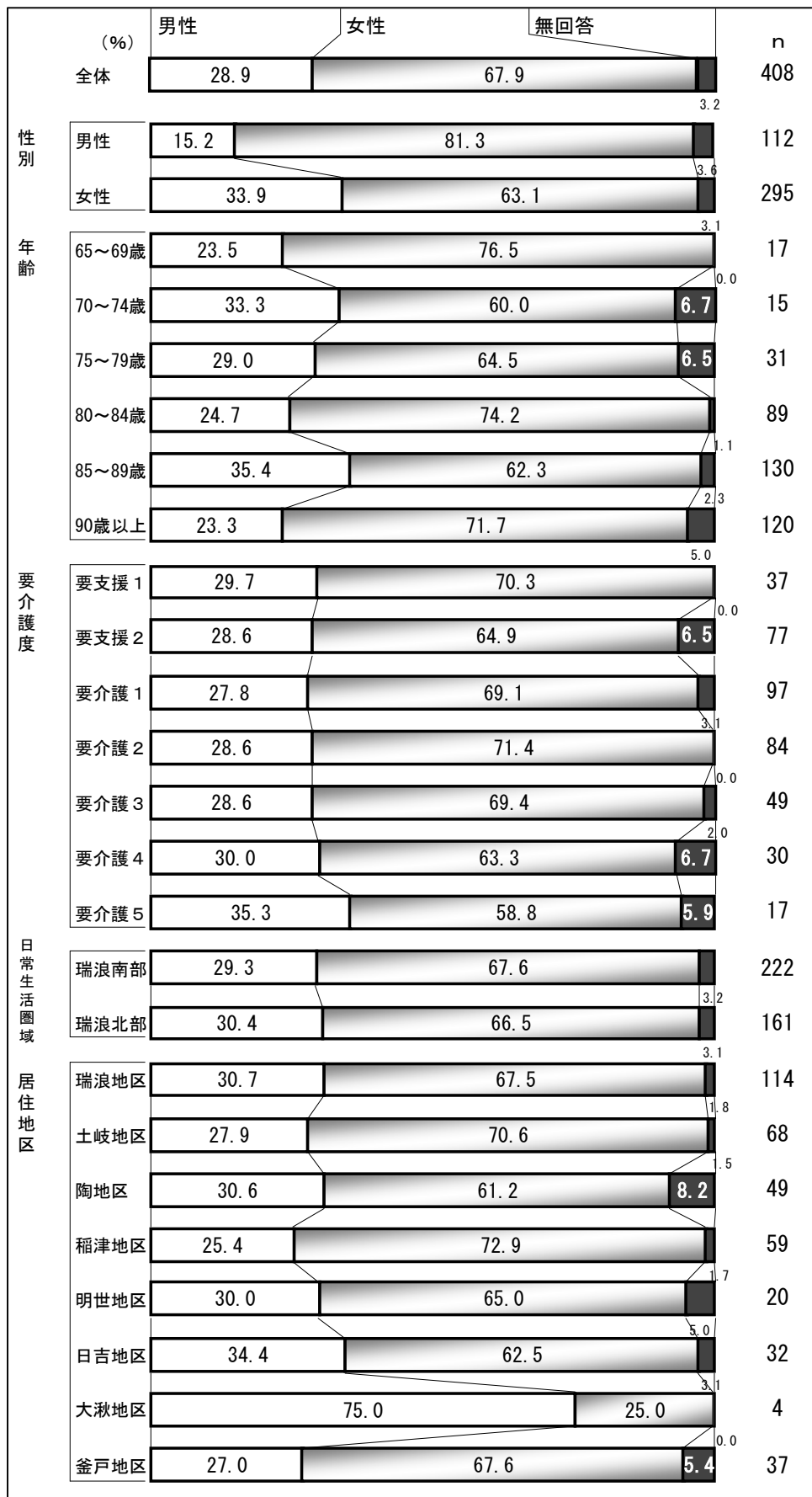
問 11 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。



- 「女性」が7割弱、一方、「男性」が3割弱。

主な介護者の性別については、「女性」が 67.9%、一方、「男性」が 28.9%となっています。

図表 主な介護者の性別



(4) 主な介護者の年齢

問 12 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。



● 「60代」が4割弱。

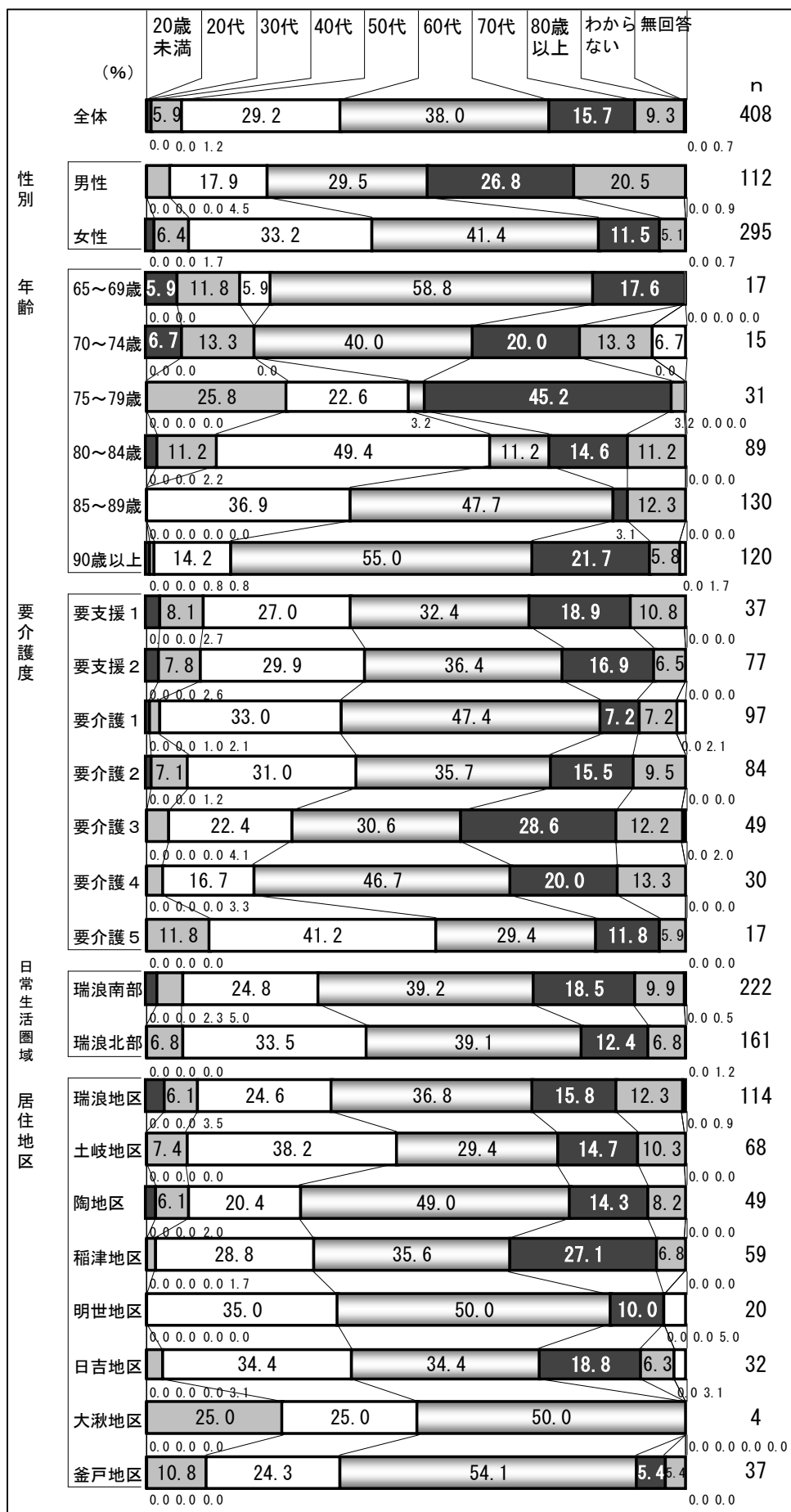
主な介護者の年齢については、「60代」が38.0%、「50代」が29.2%、「70代」が15.7%、「80歳以上」が9.3%、「40代」が5.9%、「30代」が1.2%となっています。

性別で見ると、総じて、女性より男性のほうが主な介護者の年齢が高くなっています。

年齢別で見ると、主な介護者のほとんどの年齢層で「60代」が多数を占めますが、75-79歳は「70代」、80-84歳は「50代」が多数を占めます。

居住地区別で見ると、「70代」の割合が、稲津地区で3割弱にのぼり、他の地域より高くなっています。

図表 主な介護者の年齢



(5) 主な介護者が行っている介護

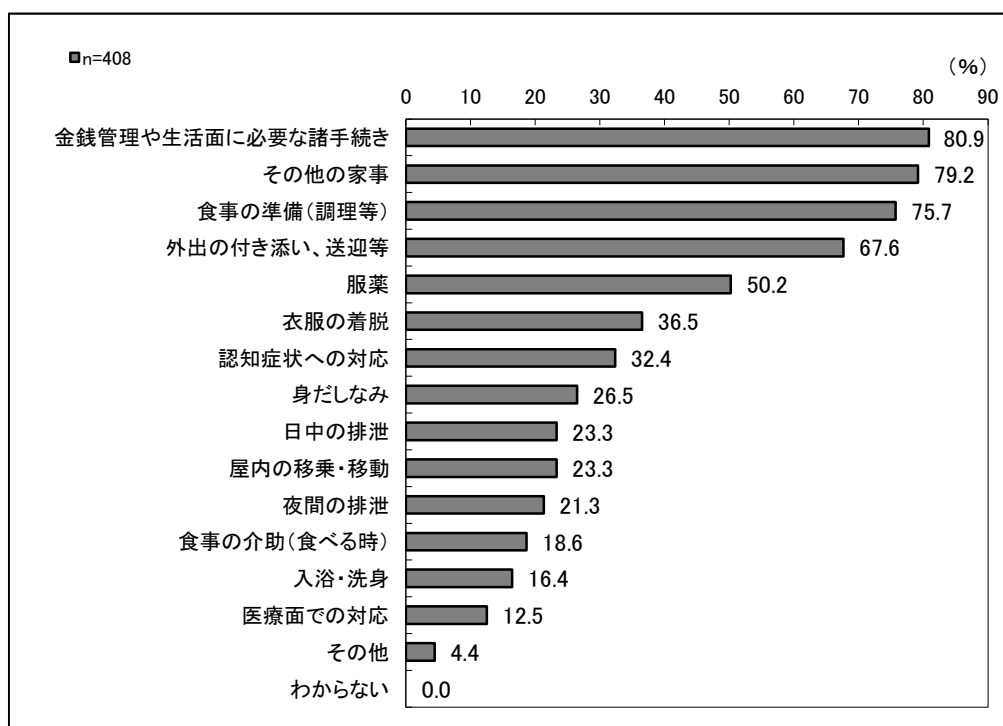
問 13 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。【複数回答】

- 「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が第1位、次いで、「その他の家事」、「食事の準備（調理等）」の順。

主な介護者が行っている介護については、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（80.9%）、「その他の家事」（79.2%）、「食事の準備（調理等）」（75.7%）、「外出の付き添い、送迎等」（67.6%）、「服薬」（50.2%）、「衣服の着脱」（36.5%）、「認知症状への対応」（32.4%）、「身だしなみ」（26.5%）、「日中の排泄」・「屋内の移乗・移動」（同率 23.3%）、「夜間の排泄」（21.3%）、「食事の介助（食べる時）」（18.6%）、「入浴・洗身」（16.4%）、「医療面での対応」（12.5%）の順となっています。

要介護度別にみると、軽度層を中心に、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他の家事」が上位2位となっていますが、要介護度3、5では「食事の準備（調理等）」が第1位となっています。

図表 主な介護者が行っている介護（全体）



図表 主な介護者が行っている介護（全体・属性別—上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		金銭管理や生活面に必要な諸手続き 80.9	その他の家事 79.2	食事の準備（調理等） 75.7
性別	男性	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 78.6	食事の準備（調理等） 77.7	その他の家事 75.0
	女性	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 81.7	その他の家事 80.7	食事の準備（調理等） 74.9
年齢	65～69歳	その他の家事 82.4	食事の準備（調理等）/金銭管理や生活面に必要な諸手続き 70.6	
	70～74歳	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 86.7	外出の付き添い、送迎等 60.0	食事の準備（調理等）/その他の家事 53.3
	75～79歳	その他の家事/金銭管理や生活面に必要な諸手続き 83.9		食事の準備（調理等） 80.6
	80～84歳	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 80.9	その他の家事 77.5	外出の付き添い、送迎等 73.0
	85～89歳	食事の準備（調理等）/金銭管理や生活面に必要な諸手続き 81.5		その他の家事 79.2
	90歳以上	その他の家事 82.5	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 80.8	食事の準備（調理等） 79.2
要介護度	要支援1	その他の家事/金銭管理や生活面に必要な諸手続き 73.0		食事の準備（調理等） 64.9
	要支援2	その他の家事 75.3	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 72.7	食事の準備（調理等） 67.5
	要介護1	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 82.5	その他の家事 75.3	食事の準備（調理等） 74.2
	要介護2	その他の家事 88.1	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 86.9	食事の準備（調理等） 79.8
	要介護3	食事の準備（調理等） 85.7	その他の家事/金銭管理や生活面に必要な諸手続き	81.6
	要介護4	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 96.7	食事の準備（調理等）/その他の家事	93.3
	要介護5	食事の準備（調理等） 88.2	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 82.4	その他の家事 76.5
日常生活圏域	瑞浪南部	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 80.2	その他の家事 79.7	食事の準備（調理等） 78.8
	瑞浪北部	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 83.9	その他の家事 79.5	食事の準備（調理等） 72.0
居住地区	瑞浪地区	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 75.4	その他の家事 74.6	食事の準備（調理等） 72.8
	土岐地区	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 80.9	その他の家事 76.5	食事の準備（調理等） 70.6
	陶地区	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 83.7	外出の付き添い、送迎等 81.6	食事の準備（調理等）/その他の家事 77.6
	稲津地区	食事の準備（調理等）/その他の家事 91.5		金銭管理や生活面に必要な諸手続き 86.4
	明世地区	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 90.0	その他の家事 85.0	外出の付き添い、送迎等/食事の準備（調理等） 80.0
	日吉地区	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 78.1	食事の準備（調理等）/その他の家事	75.0
	大湫地区	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 100.0	外出の付き添い、送迎等/その他の家事	75.0
	釜戸地区	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 89.2	その他の家事 86.5	外出の付き添い、送迎等/食事の準備（調理等） 70.3

(6) 主な介護者が不安に感じる介護

問 14 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません。)【複数回答】

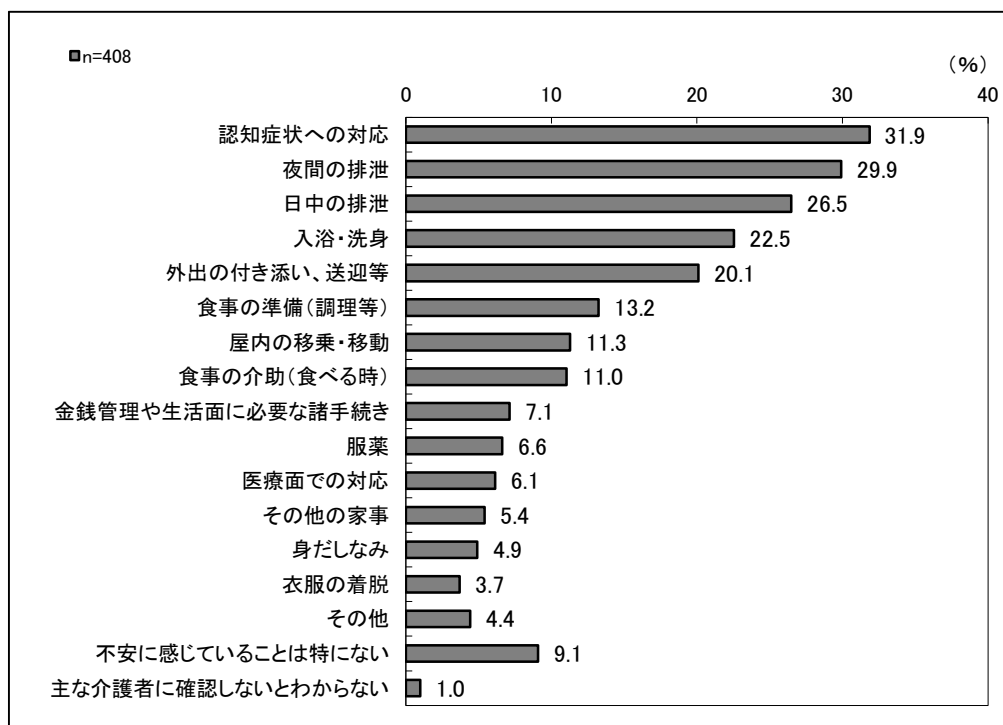
- 「認知症状への対応」が第1位、次いで、「夜間の排泄」、「日中の排泄」の順。

主な介護者が不安に感じる介護については、「認知症状への対応」(31.9%)、「夜間の排泄」(29.9%)、「日中の排泄」(26.5%)、「入浴・洗身」(22.5%)、「外出の付き添い、送迎等」(20.1%)、「食事の準備(調理等)」(13.2%)、「屋内の移乗・移動」(11.3%)、「食事の介助(食べる時)」(11.0%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(7.1%)、「服薬」(6.6%)、「医療面での対応」(6.1%)、「その他の家事」(5.4%)、「身だしなみ」(4.9%)、「衣服の着脱」(3.7%)の順となっています。

なお、「不安に感じていることは特にない」が9.1%、主な介護者に確認しないとわからないが1.0%となっています。

属性別でみると、主な介護者が不安に感じる介護は、各層において多様です。

図表 主な介護者が不安に感じる介護(全体)



図表 主な介護者が不安に感じる介護（全体・属性別—上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		認知症状への対応 31.9	夜間の排泄 29.9	日中の排泄 26.5
性別	男性	認知症状への対応 27.7	夜間の排泄 26.8	外出の付き添い、送迎等 25.0
	女性	認知症状への対応 33.6	夜間の排泄 31.2	日中の排泄 27.8
年齢	65～69歳	外出の付き添い、送迎等 23.5	日中の排泄/入浴・洗身/屋内の移乗・移動/服薬/金銭管理や生活面に必要な諸手続き 17.6	
	70～74歳	日中の排泄/外出の付き添い、送迎等 40.0		入浴・洗身 33.3
	75～79歳	認知症状への対応 41.9	夜間の排泄 35.5	日中の排泄/入浴・洗身 22.6
	80～84歳	認知症状への対応 31.5	日中の排泄/入浴・洗身 28.1	
	85～89歳	認知症状への対応 37.7	夜間の排泄 31.5	日中の排泄 26.2
	90歳以上	夜間の排泄 35.8	日中の排泄/認知症状への対応 27.5	
要介護度	要支援1	認知症状への対応 37.8	外出の付き添い、送迎等 29.7	入浴・洗身 24.3
	要支援2	夜間の排泄 29.9	入浴・洗身 26.0	外出の付き添い、送迎等 20.8
	要介護1	認知症状への対応 45.4	夜間の排泄 32.0	日中の排泄 27.8
	要介護2	日中の排泄 33.3	夜間の排泄/認知症状への対応 31.0	
	要介護3	夜間の排泄 46.9	日中の排泄/認知症状への対応 32.7	
	要介護4	夜間の排泄 26.7	入浴・洗身/屋内の移乗・移動/認知症状への対応 23.3	
	要介護5	日中の排泄 35.3	食事の介助（食べる時）/認知症状への対応 29.4	
日常生活圏域	瑞浪南部	認知症状への対応 33.3	夜間の排泄 27.5	日中の排泄 23.4
	瑞浪北部	夜間の排泄 35.4	日中の排泄 30.4	認知症状への対応 28.6
居住地区	瑞浪地区	認知症状への対応 36.8	外出の付き添い、送迎等 26.3	夜間の排泄 24.6
	土岐地区	夜間の排泄 38.2	日中の排泄 36.8	認知症状への対応 33.8
	陶地区	認知症状への対応 34.7	夜間の排泄 32.7	日中の排泄 28.6
	稲津地区	日中の排泄 30.5	夜間の排泄 28.8	入浴・洗身/認知症状への対応 25.4
	明世地区	夜間の排泄/認知症状への対応 30.0		日中の排泄/入浴・洗身/外出の付き添い、送迎等 25.0
	日吉地区	夜間の排泄 34.4	認知症状への対応 31.3	日中の排泄 25.0
	大湫地区	食事の介助（食べる時）/入浴・洗身/外出の付き添い、送迎等/食事の準備（調理等） 25.0		
	釜戸地区	夜間の排泄 37.8	日中の排泄/入浴・洗身 29.7	

(7) 主な介護者の勤務形態

問 15 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。



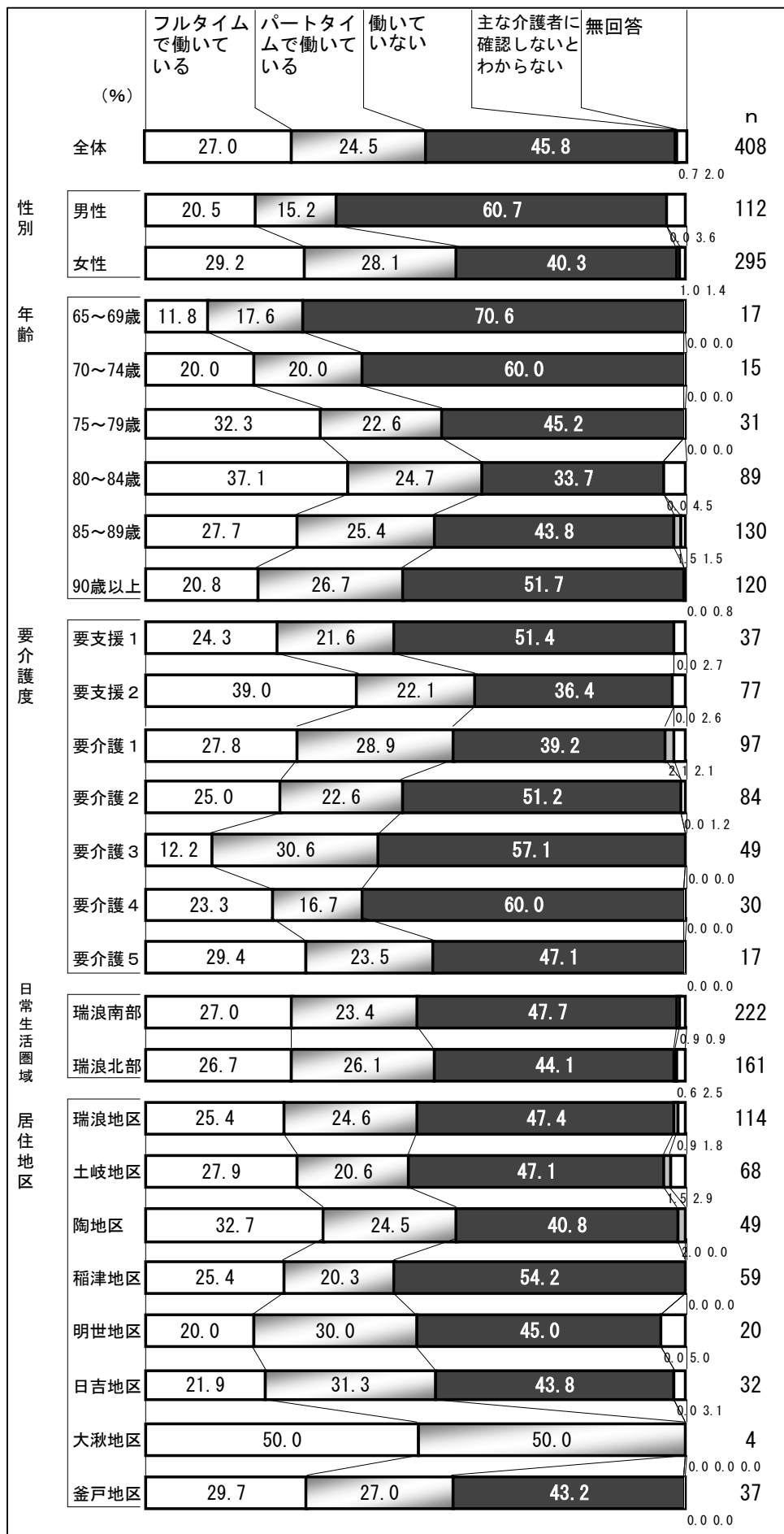
- 「働いていない」が4割台半ば。

主な介護者の勤務形態については、「働いていない」が45.8%、「フルタイムで働いている」が27.0%、「パートタイムで働いている」が24.5%、「主な介護者に確認しないとわからない」が0.7%なっています。

性別で見ると、「働いていない」の割合は、女性より男性のほうが約20ポイント上回ります。

居住地区別で見ると、「働いている」（「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」の合計）の割合は、陶地区と釜戸地区では6割弱を占めています。

図表 主な介護者の勤務形態



(8) 主な介護者の働き方の調整の状況

【問 15 で「1.」「2.」と回答した方のみ】

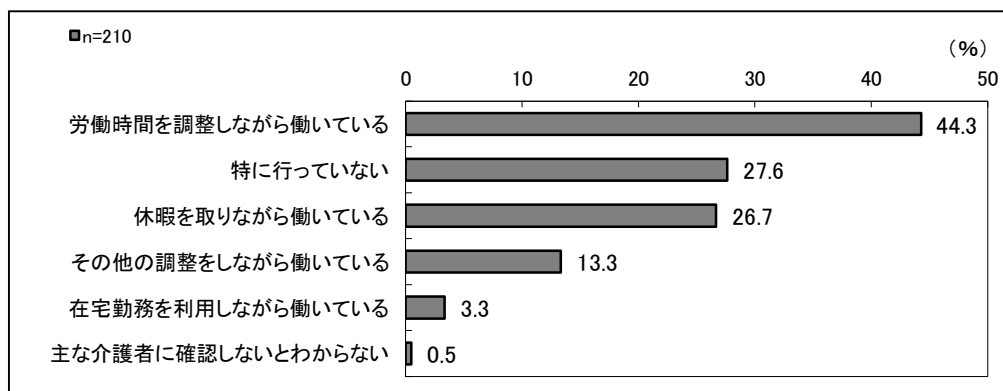
問 15-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。【複数回答】

- 「労働時間を調整しながら働いている」が第1位、次いで、「特に行っていない」、「休暇を取りながら働いている」の順。

主な介護者の働き方の調整の状況についてたずねたところ、「労働時間を調整しながら働いている」(44.3%)、「特に行っていない」(27.6%)、「休暇を取りながら働いている」(26.7%)、「その他の調整をしながら働いている」(13.3%)、「在宅勤務を利用しながら働いている」(3.3%)の順となっています。なお、「主な介護者に確認しないとわからない」が0.5%でした。

属性別でみると、ほとんどの層で「労働時間を調整しながら働いている」が第1位となっていますが、要介護度別の要支援2、要介護5、居住地区別の大湫地区、釜戸地区では「特に行っていない」が第1位となっています。(要介護5は、「労働時間を調整しながら働いている」と同率)

図表 主な介護者の働き方の調整の状況（全体）



図表 主な介護者の働き方の調整の状況（全体・属性別一上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		労働時間を調整しながら働いている 44.3	特に行っていない 27.6	休暇を取りながら働いている 26.7
性別	男性	労働時間を調整しながら働いている 37.5	特に行っていない 27.5	その他の調整をしながら働いている 25.0
	女性	労働時間を調整しながら働いている 45.6	特に行っていない/休暇を取りながら働いている 27.8	
年齢	65～69歳	労働時間を調整しながら働いている 80.0	休暇を取りながら働いている 40.0	その他の調整をしながら働いている 20.0
	70～74歳	労働時間を調整しながら働いている 50.0	特に行っていない/その他の調整をしながら働いている 33.3	
	75～79歳	労働時間を調整しながら働いている 58.8	休暇を取りながら働いている 29.4	特に行っていない/その他の調整をしながら働いている 11.8
	80～84歳	労働時間を調整しながら働いている 45.5	特に行っていない 30.9	休暇を取りながら働いている 27.3
	85～89歳	労働時間を調整しながら働いている 39.1	休暇を取りながら働いている 37.7	特に行っていない 26.1
	90歳以上	労働時間を調整しながら働いている 42.1	特に行っていない 33.3	その他の調整をしながら働いている 17.5
要介護度	要支援1	労働時間を調整しながら働いている 64.7	休暇を取りながら働いている 35.3	その他の調整をしながら働いている 17.6
	要支援2	特に行っていない 40.4	労働時間を調整しながら働いている 27.7	休暇を取りながら働いている 23.4
	要介護1	労働時間を調整しながら働いている 38.2	特に行っていない 34.5	休暇を取りながら働いている 27.3
	要介護2	労働時間を調整しながら働いている 42.5	特に行っていない 27.5	休暇を取りながら働いている 22.5
	要介護3	労働時間を調整しながら働いている 66.7	休暇を取りながら働いている 28.6	その他の調整をしながら働いている 19.0
	要介護4	労働時間を調整しながら働いている 75.0	休暇を取りながら働いている 25.0	特に行っていない/在宅勤務を利用しながら働いている 16.7
	要介護5	特に行っていない/労働時間を調整しながら働いている 33.3	休暇を取りながら働いている/在宅勤務を利用しながら働いている/その他の調整をしながら働いている 22.2	
日常生活圏域	瑞浪南部	労働時間を調整しながら働いている 46.4	休暇を取りながら働いている 27.7	特に行っていない 25.0
	瑞浪北部	労働時間を調整しながら働いている 43.5	特に行っていない/休暇を取りながら働いている 28.2	
居住地区	瑞浪地区	労働時間を調整しながら働いている 45.6	特に行っていない 29.8	休暇を取りながら働いている 21.1
	土岐地区	労働時間を調整しながら働いている 51.5	休暇を取りながら働いている 42.4	特に行っていない 18.2
	陶地区	労働時間を調整しながら働いている 46.4	休暇を取りながら働いている 39.3	特に行っていない 25.0
	稲津地区	労働時間を調整しながら働いている 48.1	休暇を取りながら働いている 29.6	特に行っていない 14.8
	明世地区	労働時間を調整しながら働いている 60.0	その他の調整をしながら働いている 40.0	特に行っていない/休暇を取りながら働いている 20.0
	日吉地区	労働時間を調整しながら働いている 35.3	特に行っていない/休暇を取りながら働いている 23.5	
	大湫地区	特に行っていない 75.0	労働時間を調整しながら働いている/休暇を取りながら働いている 25.0	
	釜戸地区	特に行っていない 42.9	労働時間を調整しながら働いている 33.3	休暇を取りながら働いている 14.3

(9) 勤め先からの効果的な支援

【問15で「1.」「2.」と回答した方のみ】

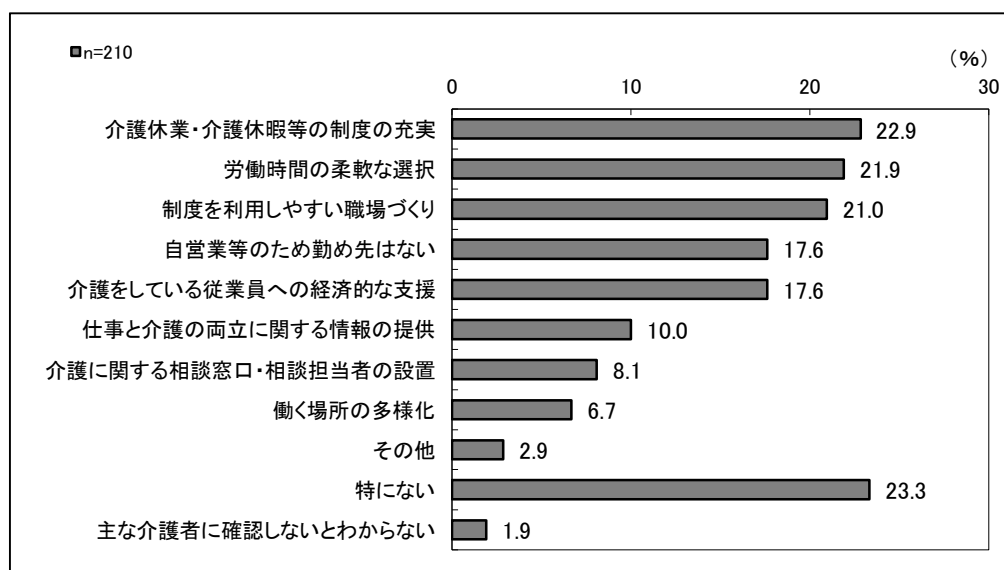
問 15-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。【複数回答】

- 「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が第1位、次いで、「労働時間の柔軟な選択」、「制度を利用しやすい職場づくり」の順。

効果的な勤め先からの支援については、具体的には、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(22.9%)、「労働時間の柔軟な選択」(21.9%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(21.0%)、「自営業等のため勤め先はない」・「介護をしている従業員への経済的な支援」(同率17.6%)「仕事と介護の両立に関する情報の提供」(10.0%)、「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」(8.1%)、「働く場所の多様化」(6.7%)の順となっています。なお、「特にない」は23.3%、「主な介護者に確認しないとわからない」は1.9%となっています。

属性別でみると、効果的だと思う勤め先からの具体的な支援は、各層において多様です。

図表 効果的な勤め先からの支援（全体）



図表 勤め先からの効果的な支援（全体・属性別—上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		介護休業・介護休暇等の制度の充実 22.9	労働時間の柔軟な選択 21.9	制度を利用しやすい職場づくり 21.0
性別	男性	自営業等のため勤め先はない 22.5	制度を利用しやすい職場づくり/介護をしている従業員への経済的な支援 23.1	20.0
	女性	介護休業・介護休暇等の制度の充実 24.3	労働時間の柔軟な選択 23.1	制度を利用しやすい職場づくり 20.7
年齢	65～69歳	介護をしている従業員への経済的な支援 80.0	介護休業・介護休暇等の制度の充実/制度を利用しやすい職場づくり 40.0	40.0
	70～74歳	労働時間の柔軟な選択 33.3	制度を利用しやすい職場づくり/働く場所の多様化/仕事と介護の両立に関する情報の提供/介護に関する相談窓口・相談担当者の設置/介護をしている従業員への経済的な支援 16.7	16.7
	75～79歳	労働時間の柔軟な選択 35.3	自営業等のため勤め先はない/介護休業・介護休暇等の制度の充実/制度を利用しやすい職場づくり/介護をしている従業員への経済的な支援 23.5	23.5
	80～84歳	自営業等のため勤め先はない 27.3	介護休業・介護休暇等の制度の充実/制度を利用しやすい職場づくり 21.8	21.8
	85～89歳	介護休業・介護休暇等の制度の充実 27.5	労働時間の柔軟な選択 26.1	制度を利用しやすい職場づくり 21.7
	90歳以上	介護休業・介護休暇等の制度の充実 19.3	自営業等のため勤め先はない/制度を利用しやすい職場づくり 17.5	17.5
要介護度	要支援1	制度を利用しやすい職場づくり 47.1	介護休業・介護休暇等の制度の充実 35.3	労働時間の柔軟な選択/働く場所の多様化/仕事と介護の両立に関する情報の提供/介護に関する相談窓口・相談担当者の設置/介護をしている従業員への経済的な支援 17.6
	要支援2	自営業等のため勤め先はない 25.5	介護をしている従業員への経済的な支援 21.3	労働時間の柔軟な選択 19.1
	要介護1	介護休業・介護休暇等の制度の充実 27.3	労働時間の柔軟な選択 20.0	制度を利用しやすい職場づくり/介護をしている従業員への経済的な支援 18.2
	要介護2	労働時間の柔軟な選択 32.5	介護休業・介護休暇等の制度の充実/制度を利用しやすい職場づくり 20.0	20.0
	要介護3	介護休業・介護休暇等の制度の充実/制度を利用しやすい職場づくり 33.3	労働時間の柔軟な選択 23.8	23.8
	要介護4	自営業等のため勤め先はない/労働時間の柔軟な選択/介護をしている従業員への経済的な支援 25.0	25.0	25.0
	要介護5	自営業等のため勤め先はない/介護をしている従業員への経済的な支援 22.2	介護休業・介護休暇等の制度の充実/制度を利用しやすい職場づくり/労働時間の柔軟な選択/働く場所の多様化/仕事と介護の両立に関する情報の提供/介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 11.1	11.1
	日常生活圏域	瑞浪南部 25.0	労働時間の柔軟な選択 22.3	介護をしている従業員への経済的な支援 20.5
	瑞浪北部 31.8	制度を利用しやすい職場づくり 24.7	労働時間の柔軟な選択 23.5	
居住地区	瑞浪地区 24.6	労働時間の柔軟な選択 22.8	22.8	
	土岐地区 36.4	介護休業・介護休暇等の制度の充実 27.3	制度を利用しやすい職場づくり/仕事と介護の両立に関する情報の提供/介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 21.2	
	陶地区 25.0	介護をしている従業員への経済的な支援 21.4	21.4	
	稲津地区 33.3	自営業等のため勤め先はない/制度を利用しやすい職場づくり/労働時間の柔軟な選択 18.5	18.5	
	明世地区 30.0	制度を利用しやすい職場づくり 20.0	20.0	
	日吉地区 52.9	介護休業・介護休暇等の制度の充実 29.4	労働時間の柔軟な選択 23.5	
	大湫地区 50.0	自営業等のため勤め先はない 25.0	25.0	
	釜戸地区 33.3	労働時間の柔軟な選択 28.6	制度を利用しやすい職場づくり/介護休業・介護休暇等の制度の充実 23.8	

(10) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

【問15で「1.」「2.」と回答した方のみ】

問15-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。



- 「問題はあるが何とか続けていける」が約6割。

主な介護者の就労継続の可否に係る意識については「問題はあるが何とか続けていける」が59.0%、「問題なく続けていける」が15.2%、「続けていくのはやや難しい」が10.5%、「続けていくのはかなり難しい」が7.6%、「主な介護者に確認しないとわからない」が2.9%となっています。

要介護度別にみると、“続けていける”（「問題はあるが何とか続けていける」と「問題なく続けていける」の合計）の割合は、概ね要介護度が高いほど、低くなる傾向がみられます。

図表 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

